

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
ターコイズステークス	ハンデ	重賞	中山	芝1600m	良想定	平坦	中荒れ	D

※文字色の意味 2019/12/14

赤…GOOD妙味大な馬 - 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ベース	総合	人気	印	結果	大駆値
1	レッドレグナント	武藤	ロードカナロア	キングマンボ	クロフネ	ヴァイスリージェント	C	D	E	D	E	E	15	消		15
2	シャインガーネット	田辺	オルフェーヴル	サンデーサイレンス	Gone West	ミスターオブザ	B	D	B	B	D	D	12	消		12
3	フェアリーポルカ	和田竜	ルーラーシップ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	B	C	B	C	C	C	2	△3		2
4	ビックウィンバイオ	戸崎	キングズベスト	キングマンボ	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	C	C	C	C	E	D	9	消		9
5	アンドラステ	岩田望	オルフェーヴル	サンデーサイレンス	Dynaformer	ロベルト	A	C	B	C	B	B	8	◎		8
6	インターミッション	石川	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	A	C	B	B	B	5	○		5
7	ドナウデルタ	ルメール	ロードカナロア	キングマンボ	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	C	D	C	B	B	C	3	△4		3
8	スマイルカナ	柴田大	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Distorted Humor	ミスターオブザ	C	A	B	C	C	B	1	▲		1
9	アロハリリー	酒井学	ハーツクライ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	C	C	D	B	D	D	13	消		13
10	モルフェオルフェ	江田照	オルフェーヴル	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	C	D	B	E	E	16	消		16
11	サンクチュエール	北村宏	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Canadian Frontier	ミスターオブザ	B	C	C	B	B	C	11	△2		11
12	クリスティ	松若	キズナ	サンデーサイレンス	クロフネ	ヴァイスリージェント	C	D	C	B	D	D	6	消		6
13	シーズズギフト	津村	エビファネイア	ロベルト	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	A	B	C	C	C	C	7	△1		7
14	ランプリングアレー	吉田隼	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	シンボリクリスエス	ロベルト	B	B	B	B	B	B	4	☆		4
15	スイープセリタス	丸山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	エンドスウィープ	ミスターオブザ	C	D	C	C	C	D	14	消		14
16	トロワゼトワル	斎藤	ロードカナロア	キングマンボ	ハーツクライ	サンデーサイレンス	C	B	B	C	E	D	10	消		10

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>重賞昇格初年度は超スローペースで完全な前残りレースとなったが、ここ2年は淀みない流れに。ハンデ戦の牝馬限定重賞らしく、馬場や展開次第でいかようにも荒れそうな感じで、実際に過去のレース結果を見てもまともに決まった年はほとんどない。今年は馬場レベルは標準だと思うが、スマイルカナを筆頭に前に行きたい馬はそれなりに揃った印象。ある程度は差しが決まる展開になるんじゃないだろうか。</p> <p>本命は前走がスムーズな競馬ができていない◎アンドラステの巻き返しに期待したい。前走の京成杯AHはコーナー部分で位置を落とした上に直線で前が詰まってほとんど追えず。風の影響で完全な前残りの展開になって、ここまでスムーズに競馬ができなければ仕方ない結果。父がオルフェーヴルで母父ロベルト、母母父モンズーンというこのレース向きな欧州血統で、今までのレースぶりからも若干サウスボー感があるのはネックだが、人気妙味を考えると狙いはつはずだ。</p>

REVIEW
<p> </p>

血統
 冬のタフな中山芝のマイル戦ということもあり、ロベルト、ニジンスキー、サドラズウェルズなどの重めの血統の馬がよく走る。

適性
 トリッキーな中山マイルを舞台としているだけあって、その年のペースによって決着はガリリと変わる。冬の中山芝なのである程度タフさを備えている馬が有利。

データ
 ×6歳以上で当日4番人気以下(0-0-0-16)
 △前走G2・G3(0-0-2-28)
 △前走1400m以下のOP特別(0-0-1-18)
 ×前走1400m以下だった馬で当日10番人気以下(0-0-0-18)
 ×前走1800mだった馬で当日10番人気以下(0-0-0-16)

ペース
 スマイルカナを筆頭に前に行きたい馬は揃った印象。レッドレグナントあたりが主張しない限りは陣列はすぐに落ち着きそうだが、ある程度はペースは流れるんじゃないだろうか。

危険な馬
 ドナウデルタ=2~3歳時の重賞でのレースぶりからも明らかにマイルの距離は長そうなイメージ。その後の1400mでの連勝内容を見てもベストは1400mと想像していただけに前走のポートアイランドSでの勝利には正直驚いた。今回は相手強化で重賞のマイル戦でどうかだが、枠順と展開には恵まれそうにない、、、

妙味大な馬
 アンドラステ=前走の京成杯AHはコーナー部分で位置を落とした上に直線で前が詰まってほとんど追えず。風の影響で完全な前残りの展開になって、ここまでスムーズに競馬ができなければ仕方ない結果。父がオルフェーヴルで母父ロベルト、母母父モンズーンというこのレース向きな欧州血統。

穴馬
 サンクチュエール=ルメール騎乗の影響でクラシック期間はずっと過剰人気馬として嫌ってきたが、なんだかんだでシンザン記念は勝利している馬。桜花賞でも予想以上に善戦できましたし、そこそこのレベルのマイル戦なら好走できても良さそう。秋華賞は勝負所での手応えが悪くてルメールはほとんど追っていない。

タイム	上3F	下3F

ラップタイム

Copyright (C) 2014 - KAZ
 AllRightsReserved.
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

